

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の導入について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>日本の福祉制度・政策は、『子ども・障害者・高齢者』といった対象者の属性や『要介護・虐待・生活困窮』といったリスクごとに制度を設け、現金・現物給付の提供や専門的支援体制の構築を進めることで、その内容は、質・量ともに充実してきた。各市町村ではその対応をする部署がそれぞれ設置され対応をしている。一方で、担当部署の縦割りだけでは対応できないといった、既存の制度の対象となりにくいケースも存在する。そのような場合にこれまでは、自助、互助で対応していたが、</p> <p>(次ページへ続く)</p>	<p>(1) 全世代型の地域包括ケアシステムの進捗と方向性について</p>	<p>①令和5年6月定例会で質問した全世代型の地域包括ケアシステムについて、担当職員を配置し、着手していくとのことであったが進捗を伺う。</p> <p>②全世代型の地域包括ケアシステムは地域共生社会という概念の具体策と考える。令和2年の社会福祉法改正により、市町村において「包括的な支援体制」の構築を推進するための事業として、重層的支援体制整備事業が創設された。この事業の特徴は、地域の実情に合わせて構築できる設計の自由度が非常に高いところにあり、全世代型の地域包括ケアシステムを実施していくのに適した事業と考えるが、導入への検討を行っているか伺う。</p> <p>③重層的支援体制整備事業の効果と課題をどのようにとらえられているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>人口減少・超高齢化・核家族化・自治会やPTAをはじめとする地域団体への未加入といった人とのつながりの希薄化などの状況が加わり、自助、互助で対応しきれないケースも増えていくと予測される。そして、行政が行う公助・共助にも限りがあるため、既存の制度をつなぎ、地域の実情に合わせ、効率よくサービスを提供する必要がある。自助・互助・公助・共助のバランスを取りお互いの力を発揮できるようにすることが、住みやすいまちづくりになると考える。それを担うのが全世代型の地域包括ケアシステムとなる為、地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の導入について本市の進捗と方向性を伺う。</p>		

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2 「包括的な防災」が可能な瀬戸市を目指して</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>近年、国内外において地震や豪雨による自然災害がいたるところで発生しており、防災・減災の取り組みは各市町村において重要度が増し早期整備が求められている。</p> <p>高齢者の増加に伴い在宅での医療・介護が進められているが、災害を想定していない在宅福祉や在宅医療・介護は、多くの災害弱者を生み出す危険性が指摘されている。</p> <p>本市における南海トラフを震源とする巨大地震の被害想定は、震度5強～6弱とされており、本市が全市的に避難所を活用する状況下において、</p> <p>(次ページへ続く)</p>	<p>(1) 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の進捗状況と今後の予定について</p>	<p>①令和5年3月議会の答弁における、避難行動要支援者名簿について「75歳以上の独り暮らしの方及び高齢者のみの世帯の方、要介護状態や障害など配慮が必要な方を対象として作成し、令和4年度の対象者数は約1万5,000名であり、そのうち、同意を得られた約1万名の方の災害時支援台帳・高齢者世帯票を作成した。本市では、この台帳が避難行動要支援者名簿の役割を担う」と答弁されているが、現在の状況を伺う。</p> <p>②令和5年3月議会において「避難行動要支援者名簿を元に個別避難計画の作成をする必要があり、モデルケースを作成し、防災部局の市長直轄組織危機管理課と福祉部局の健康福祉部高齢者福祉課で連携し進める」と答弁されているが、現在の計画の作成状況を伺う。</p> <p>③令和5年3月議会において地区防災計画について、「防災対策上の役割分担や避難における行動支援について、今後、個別避難計画に基づいて整理する必要が生じるものと認識している。また、地域の方々が主体となり、防災訓練などを通じて計画内容を検証し、必要に応じて更新することによって、自助と共助の計画として、より実効性の高いものになると考えている。」と答弁されているが現在の地区防災計画作成の状況を伺う。</p> <p>④避難行動要支援者の内、要介護高齢者や障害者等の要配慮者は、医療的な支援が必要な場合がある。その場合、安否確認だけでなく、追加での処置や機器の動作確認、非常用電源の確認などが必要となる。現場で対応できない場合は、医師の指示を受けその後の対応をすることになるが、医療情報を把握することが必要であり地域住民では対応できないことが予測される。そのような対象者の対応はどのように行う予定か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>近隣地域には甚大な被害が生じていると予測される。そのような状況下では、インフラは壊滅的であり、消防や各種医療機関も混乱し、数日間は過酷な状況になると予測される。平時より災害弱者といわれる方々の対応を計画しておくことは、高齢者・障害者、その介護者にとって安心して住みよいまちづくりにつながる考える。</p> <p>令和5年3月定例会において、同僚議員から避難行動要支援者ごとの個別避難計画について触れられており、その整備は順次進められていると認識している。ただし、災害弱者を守るために早期に整備を完了し、実際の訓練で検証するには、</p> <p>(次ページへ続く)</p>	<p>(2) 情報収集の方法検討、事務作業の効率化、制度の新設について</p>	<p>⑤令和5年11月に瀬戸旭医師会の「もーやっこ防災訓練」と瀬戸市総合防災訓練が合同で実施され、電子連絡帳（もーやっこネットワーク）を活用して行われた。インターネット環境を使用したリアルタイムでの情報共有は小項目④のような場合に有効であると考えられるが、訓練時に生じた問題点や今後の課題と対応を伺う。</p> <p>⑥介護事業者は事業所ごとに業務継続計画（BCP）の作成を義務づけられ、BCPガイドラインにおいて災害発生時、優先的に安否確認が必要な利用者について、あらかじめ検討の上、利用者台帳等においてその情報が分かるようにしておくことと明記されている。つまり、各介護事業者は契約利用者のトリアージはできているということになる。さらに、瀬戸市の事業者はもーやっこネットワークにて状態の変化を入力することで、日々の業務の中で更新を行っている。各事業者と協力することが災害時要支援者のリスト更新の有用性、効率性を高めると考えられるが見解を伺う。</p> <p>⑦対象の抽出と選定、身体状況の変化に対応したリスト及び計画の更新が必要と考えられるが、更新の頻度をどのように行っていく予定か伺う。</p> <p>①令和5年3月議会において個別避難計画におけるマイナンバーの活用について、「氏名などの基本情報のほか、介護認定情報など情報連携が容易になることで、情報収集作業の合理化が図られるとともに、更新時、最新情報への反映が容易になることが期待される。」と答弁されているが、マイナンバー情報をもーやっこネットワークに反映していく予定か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>民間事業者とのさらなる連携を図り、官民一体となる制度の新設・改正を視野に入れた支援体制の構築が必要である。実効性のある個別支援計画作成と災害対策の整備について本市の取組と方向性について伺う。</p>	<p>(3) 災害時、医療関係の本部機能と整備状況について</p> <p>(4) 災害時の避難行動要支援者の避難と福祉避難所について</p>	<p>②介護サービスの担当者会議時には、対象者の状態を確認する機会や、関わる人が被災時の対応を話し合える機会が存在する。その際に、避難行動要支援者の内、医療的な支援や専門職の安否確認が必要かなどのチェックをしてもらうように依頼する。その結果をも一やっこネットワークにチェック形式で入力してもらうことも併せて依頼すると、避難行動要支援者の更新問題が解決するが、そのような方法についての見解を伺う。</p> <p>③他市では個別避難計画を介護事業者である介護支援専門員（ケアマネジャー）や障害者の相談支援専門員に依頼している事例もあるが、依頼していく予定があるか伺う。</p> <p>①災害時に瀬戸旭医師会にはどのようなことを担ってもらう予定か伺う。</p> <p>②その際の人員の食料や防災関連道具の配給、備蓄、非常用電源等、災害対策としても一やっこネットワークが正常に機能するような整備が行えているか状況を伺う。</p> <p>③も一やっこネットワークの用途を災害支援に適した形に拡充、取り扱いの研修や、防災訓練の実施が実効性のある災害対策に必要であると考えられるが見解を伺う。</p> <p>①瀬戸市内の避難行動要支援者の福祉避難所の数とそこまでの移動方法について伺う。</p> <p>②在宅で暮らす要支援・要介護者の避難先は通常の避難所では生活が困難な場合がある。本市の福祉避難所は受け入れられるだけの能力を有しているかを伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。